

ヨタカ

Caprimulgus indicus Latham

ヨタカ目ヨタカ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生態系高位の昆虫食種で、近年減少が著しい。

形態

全長約29cm。全身褐色で赤褐色や黒褐色の斑が多数ある。雄は翼、尾に大きく白斑があるが、雌の斑は小さく、尾にはない。嘴は小さいが口は大きく開き、空中で昆虫を捕らえるのに適応している。足は非常に短く、あまり歩行しない。

国内分布

夏鳥として九州から北海道までの低山の明るい林に渡来する。北日本では平地にも分布する。

県内分布

夏鳥として平地から山地にかけての明るい林に渡来する。県内では海岸の防風林にも少数が生息するが、近年平野部、海岸林の減少が著しい。

生態

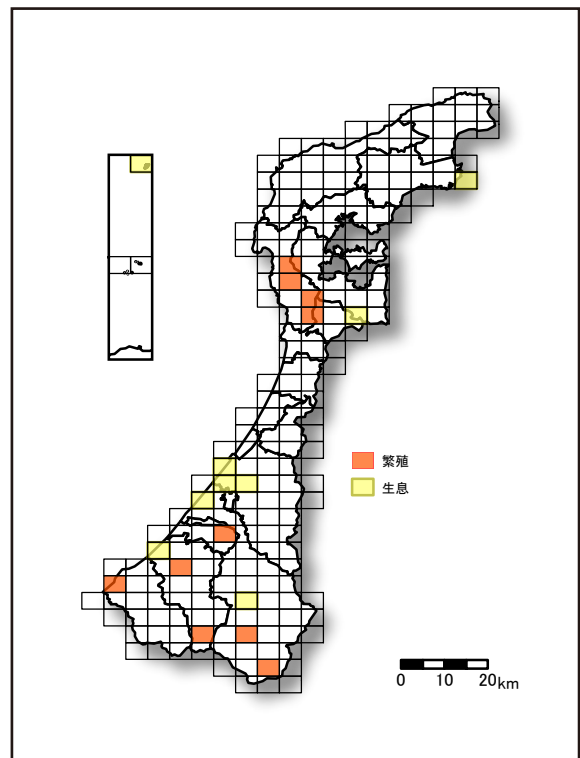
夜行性で、飛びながら大きな口を開けてガなどの昆虫を捕る。まばらな林の中で営巣し、地面に直接産卵して抱卵・育雛を行う。繁殖期は6～7月、抱卵期間は約18日。

生息地の条件

昆虫の豊富な明るい林。

生存の危機

生息地の開発などが考えられるが、詳しい原因はよくわかっていない。(A, D)



県内の分布